

森林教育（木育プログラム）の実施について

1 主 旨

木材の利用を推進することは、二酸化炭素の排出の抑制による脱炭素社会の実現への貢献や、循環型社会の形成、森林再生等につながる。

このたび、子どもたちが実際に森林や木、木材に触れ、日々の生活の中では感じられない森林と自分たちとの生活のつながり、それを守り育む人々への気づきを通じ、環境問題を「自分ごと」として考えられる森林教育（木育プログラム）を実施することについて、報告する。

2 事業概要

（1）対象

小学5年生（区立小学校2校 若林小学校、奥沢小学校）

（2）実施時期

①10月（若林小学校：木育ワークショップ出前授業）

②12月（奥沢小学校：森林体験プログラム）

（3）実施場所

①木育ワークショップ出前授業：若林小学校内

②森林体験プログラム：事前学習：奥沢小学校内、森林体験：奥多摩町（予定）

（4）プログラム概要

①木育ワークショップ出前授業

林業に従事する講師からの講義、木に触れるワークショップ（丸太切り、木材の年輪・木目等の観察等）

②森林体験プログラム

・事前学習

現地での体験学習に先立ち、学校において森林の役割や林業の流れ等を講義により学習する。

・体験学習

林道散策による森の比較、選木、間伐見学、製材所見学、ワークショップ（丸太切り、木材の年輪・木目等の観察等）、振り返り

（5）経費

約270万円

3 今後のスケジュール

令和8年 9月 受託事業者と契約締結

10月 木育ワークショップ出前授業（若林小学校）実施

12月 森林体験プログラム（奥沢小学校）実施